

さいたま市立大宮北中学校

# 学校だより 5月号

令和4年4月28日(木)

048(641)1214

048(641)6680(さわやか相談室)

<https://omiyakita-j.saitama-city.ed.jp/>



学校教育目標

『人間性豊かな  
実践力のある生徒』  
たしかな学力  
ゆたかな心情  
たくましい身体

## あいさつ～不思議な力～

校長 とみた ひでお  
富田 英雄

陽の光が輝きを増し、氷川の杜の木々の緑が眩しく感じられる季節となりました。新学期が始まり1ヵ月が過ぎようとしています。年度当初のあわただしさがひと段落し、校内を歩いていると、集中して授業に取り組んでいる生徒の姿が目に入ります。また、部活動(同好会)も、新入生を迎え、先輩がリーダーシップを発揮し、活気がみなぎっています。

さて、4月、5月の本校の生活目標は「あいさつをしっかりとしよう」です。あいさつはコミュニケーションの第一歩とよく言われますが、気持ちのこもった温かいあいさつは、相手を安心させたり、信頼感を与えたりします。さいたま市では、家庭、学校、地域社会において、コミュニケーションの基盤となる「心を潤す4つの言葉」(「おはようございます」、「はい」、「ありがとうございます」、「ごめんなさい」)を推進しています。つくろう大宮北中ハーモニー(大宮北中憲章)には「第7条 私たちは、礼儀を忘れずに、元気なあいさつのあふれる学校にします」とあります。みんなが気持ちよく生活し、良好な人間関係が築けるよう、あいさつをしっかりとしたいものです。また、あいさつには不思議な力があります。元気よく「おはよう」、「いってきます」と言うだけで、今日も頑張るぞという気になれます。元気のよいあいさつをされたときは、こちらまで元気をもらったような気がします。一方、悩み事やいやなことがあったとき、あいさつにも微妙な変化が出る場合があります。いつもより声が小さくなったり、声が暗かったり。そのようなときは、大人がその変化に気付いてあげることが大切です。中学生という多感な時期を迎え、素直にあいさつができないときもありますが、あきらめずに大人から積極的に声をかけてあげられればと思います。子どもには、きっと伝わっているはずです。御家庭でも、改めてあいさつの大切さについて考えていただければと思います。

これから大型連休を迎えます。ほっと一息できるとともに、心身ともに疲れが出る時期でもあります。お子様の様子をよくみていただき、気になることがあるときは、話をよく聞き、相談にのっていただければと思います。また、感染症は、依然として予断を許さない状況ですので、引き続き、感染症対策(特に外出時)の指導をお願いいたします。